



2015, 冬

特集

毎日できることを続けよう!

**転倒予防は
「己を知る」ことから**

**みんなの体操で
生命力もアップ**

上体ゆすり運動 ほか



社会医療法人社団 尚篤会

赤心堂病院

明けましておめでとうございます おめでとうございます

社会医療法人社団 尚篤会

本年もよろしくお願いいたします
私達は、皆様に安心していただける医療を目指し、
地域に貢献してまいります。



赤心堂病院
赤心クリニック
赤心堂総合健診クリニック
上福岡腎クリニック

年頭のご挨拶

明けまして
おめでとございます

皆様お揃いで初春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

昨年はソチ冬季オリンピック大会の興奮に始まり、消費税増税と重なる診療報酬改定があり、将来に向けての医療経営の厳しさを考えさせられる年でした。

また予期しない出来事に遭遇したことが多く、その度大変衝撃的な思いが募りました。広島島の土砂災害、木曾の御嶽山の大噴火をはじめ、エボラウイルスの感染拡大など……。災害により尊い命を奪われた悲しみはいかばかりかとご冥福をお祈りするばかりです。

一方医療の発展はとどまるところを知らず、加齢黄斑変性という眼の難病に対してiPS細胞による臨床応用の実施、そしてまたグローバルなビッグデータを病気の予防や感染拡大防止に役立てるといった新たな潮流も未来に向かい猛スピードで押し寄せているということを知り、希望と同時に驚きも感じています。私どもの施設に関しては、昨年1月全ての施設が1法人にまとまり、6月には電子カルテを導入し、10月より社会医療法人へ移行いたしました。遅ればせながらですが本場に様々なことができました。

社会医療法人ということでは尚篤会の形こそ変わりましたが、創立以来88年の間、基盤を造って下さいました皆様方への感謝の気持ちをお忘れすることなく、理念にもある赤心（まごころ）、そして公益性のある医療を今後もこころざしてまいります。

また地域の各医療機関様との連携を強化しつつ皆様方のニーズに、より一層お応えできますように頑張る所存です。どうぞ、ご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして穏やかで、そして健やかな年でありますことを心よりお祈り申し上げます。

赤心堂グループ

社会医療法人社団 尚篤会

理事長 市川 祥子
常務理事 市川 誠

赤心堂病院

病院長 関谷 繁樹

赤心クリニック

所長 内島 豊

赤心堂総合健診クリニック

所長 真宮 裕

上福岡腎クリニック

事務長 金子 修一
看護部長 前園 康子

年頭のご挨拶

赤心堂病院 院長 関谷 繁樹

新年おめでとうございます。皆様におかれましては、健やかなお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。

赤心堂病院は昨年9月に医療法人から社会医療法人へと移行いたしました。社会医療法人とは病院が救急や周産期医療など公益性の高い医療を担い、かつ個人的な所有権のない医療法人です。これにより経営の透明性の高い非営利的な地域医療の推進を目指す基盤が強固なものとなりました。

さて昨年4月には消費税の5%から8%への増税が行われました。また4月から医療費の価格にあたる診療報酬の改定が行われました。昨年の診療報酬改定では治療や検査の各々の報酬の見直しというより、今までになく医療内容に対する要件などの見直しがなされ、入院期間の短縮と在宅医療の推進の方向性が示されました。

当院のような急性期病院では7対1入院基本料（患者さん7人に対し看護師さんが1人の割合であり、看護師さんの数が最も

多い入院施設基準）の要件が厳しくなりました。これにより入院患者さんのうち重症の患者さんの比率が高いことが必要となり、積極的に重症の患者さんを受け入れることが要求されるようになりました。

また患者さんの平均在院日数の基準は18日以内で変わりませんでした。しかし短期滞在手術という項目が新設され比較的入院期間が短い手術（内視鏡で行う胆嚢摘出術や盲腸の手術、内視鏡による結腸ポリープ切除術、内視鏡による子宮筋腫の手術、関節鏡による膝の手術や手根管症候群の手術など）や入院して行う検査は在院日数の計算からはずされることとなり、平均在院日数18日以内の難易度が引き上げられました。

さらに、退院する患者さんが自宅に帰るか、在宅復帰機能を持つ病院や病棟などに転院したりする在宅復帰率が75%以上必要という要件が加わりました。

また昨年10月にて病院機能報告制度が始まりました。従来、病床は一般病床と療養病床の2つに分かれていましたが、今後は高度急性期・急性期・回復期・慢性期の4つに分けて現状を厚生労働省へ報告する制度です。さらに今後6年後や10年後の予想

される状況も報告しなければなりません。

これから日本は超高齢化社会へ向かいます。特に埼玉県は全国一高齢者の比率が上がる予想されており、増え続ける医療・福祉費用を抑制するため医療制度も2025年や2035年に向けて大きく変わることを要求されています。国は病院から在宅へ、医療から介護へという異なる政策を進めております。

赤心堂病院も地域の医療機関として、近隣の病院や医院などの医療機関をはじめ介護福祉施設などとの連携を強化し、地域医療を堅持して行く所存です。

昨年にも増しまして、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご発展を祈念いたしております。



乳がん検診のご案内

マンモグラフィーによる乳がん検診

なぜ、これまでの乳がん検診では十分ではないのか？

日本の乳がん検診は医師が視て触って診断する「視触診」という方法で実施されてきましたが、厚生労働省研究班が行った「がん検診の有効性評価」では「視触診による乳がん検診は、無症状の場合は死亡リスク低減効果が認められるが有効性を示す根拠は必ずしも十分ではない」とのことから、乳房X線撮影（マンモグラフィー）の導入に関して早急な対応が求められるという結論が示されています。

また、厚生労働省がん研究助成金による「マンモグラフィー導入による乳がん検診の精度管理の確立に関する研究」では、マンモグラフィー実施のガイドラインとして、40歳以上の女性については2年に1回の視触診と、マンモグラフィーとの併用法による検診を行うことを提言しています。

ただ、日本人の乳がん発症年齢は40歳代がもっとも多く、30歳代からの予防が重要とされており。また近年乳がん患者数は年々増加しており、今後増加することが予想されます。

しかし、早期に発見・治療を行うことで100%に近い生存率が期待でき、乳房を残す乳房温存治療法が可能です。

そこで当施設ではオプション検査として乳房X線撮影（マンモグラフィー）を導入致しました。撮影方法は乳房を撮影台にのせ透明なプラスチック板で乳房を圧迫しながら撮影します。

この時若干痛みを伴いますが、乳房を圧迫し均等な薄い厚さにすることで、**少ないX線の量で乳房の中をより鮮明に診ることができます。**

乳がん検診

(乳房視触診とX線撮影とのセット)

左右 各1方向 (MLO)内外斜位方向撮影計2枚

★マンモグラフィー
読影認定医師
★マンモグラフィー
撮影認定技師(女性)
が行っております。

世界的に最も普及しているLORAD社の最高レベルの装置です。
2011年5月に最新の撮影機器に更新しました。

☆日本医学放射線学会の定める仕様基準に適合しています。

詳細については、当施設までご連絡ください。



乳がんに関する
参考ホームページ

日本乳癌学会(JBCS)

<http://www.jbcs.gr.jp/index.html>

日本乳癌検診学会

<http://www.marianna-u.ac.jp/gakunai/jabcs/gakkai.html>

社会医療法人社団 尚篤会

赤心堂総合健診クリニック

〒350-1123 埼玉県川越市脇田本町23-1

TEL 049-243-5550

FAX 049-243-5507

日本総合健診医学会
人間ドック学会認定医

マンモグラフィ検診施設画像認定施設

優良認定施設

人間ドック健診情報管理士

読影認定医師・認定技師



赤心堂グループは



看護師・助産師の皆さんを募集しております。 患者さんのために一緒に働きませんか。

〈患者様の権利〉

- 一、全ての患者様が人間として尊重され、良質な医療を受ける権利
 - 二、病気や治療について十分な説明と情報の提供を受け、自らの意思で選択する権利
 - 三、自らの診療記録の開示を求め、また個人の情報が守られる権利
 - 四、研究途上にある医療に関し、十分な情報提供を受け、判断し、拒否する権利
- 〈患者様へのお願い〉
- 一、医療提供者に対して御自身の健康情報は正確にお伝え下さい
 - 二、不明な点は遠慮なく質問しご理解いただければと思います
 - 三、院内の決まりごとはお守り下さい

社会医療法人社団 尚篤会

赤心堂病院

患者さんのための3つの宣言

当院では

- 1 患者さんへ十分な説明を行い、同意を得て医療を提供します。
- 2 患者さん御自身の診療情報を開示します。
- 3 セカンド・オピニオン(主治医以外の医師に意見を聞くこと)に協力します。



平成28年7月20日
赤心堂病院
登録番号 04013号

埼玉県医師会 埼玉県

病院理念

- 一、私達は赤心(まごころ)の気持で患者様に接し、常に患者様の立場を尊重することに努めます。
 - 二、私達は新たな医学知識と医療技術を習得し、地域の方々の健康と福祉の増進に努めます。
 - 三、私達は患者様の知る権利を尊重し、お互いの信頼に基づいて納得していただける医療の提供に努めます。
 - 四、私達は地域において、他の関連機関と連携して効果的な医療の実現に努めます。
- 日常訓
- 一、まごころで奉仕する施設
 - 二、いつでもかかれる施設
 - 三、皆様から選ばれる施設
- 社会医療法人社団尚篤会
赤心堂病院

社会医療法人社団 尚篤会

赤心堂病院

住所／川越市脇田本町25-19
TEL.049-242-1181(大代表)

- 診療科目 外科・整形外科・リウマチ科・産科・婦人科・内科・循環器科・消化器科・消化器外科・呼吸器科・泌尿器科・肛門外科・脳神経外科・小児科・皮膚科・乳腺外科・専門外来(糖尿病・乳腺外来・ストーマ外来)・内視鏡外科・麻酔科・形成外科・放射線科・リハビリテーション科

●特殊治療装置室

人工透析室・CT室・MRI室

●第二次救急病院指定

●各種学級 母親学級、糖尿病教室

赤心クリニック

*循環器科・泌尿器科・人工透析施設
住所／川越市脇田本町25-18
TEL.049-242-8601

赤心堂総合健診クリニック

*健診専門施設
住所／川越市脇田本町23-1
TEL.049-243-5550

上福岡腎クリニック

*人工透析専門施設
住所／ふじみ野市霞ヶ丘1-2-27 ココネ上福岡2F
TEL.049-261-2300

ご不明な点はその場でお問い合わせ下さい

赤心堂グループ

ホームページアドレス <http://www.sekishindo.or.jp>